

# 冬の節電にチャレンジ!!①

この冬、沖縄を除く全国9電力管内では、節電への協力が要請されています。万が一、需給がひっ迫し停電となると、影響は、夏季よりはるかに大きくなります。健康、生命、くらしの安全を守るためにも、節電に努めましょう。

## 要請期間

◆2014年12月1日(月)～3月31日(火)平日午前8時～午後9時

※ただし12月29日(月)～31日(水)まで及び1月2日(金)を除く。

高齢者、障害のある方々などは、それぞれのご事情のもと、無理のない範囲で数値目標は設けられておりませんが、無理のない範囲で節電に努めましょう。

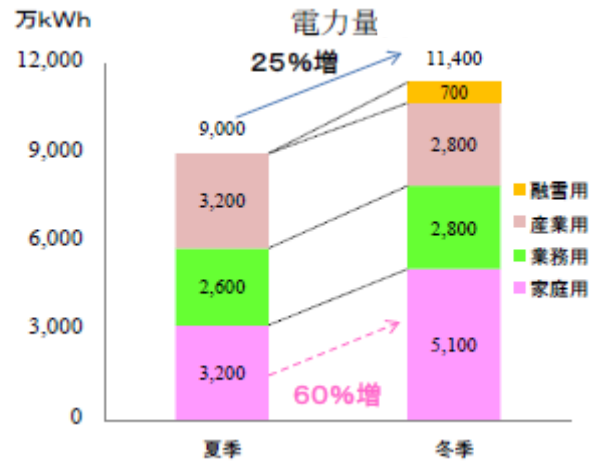
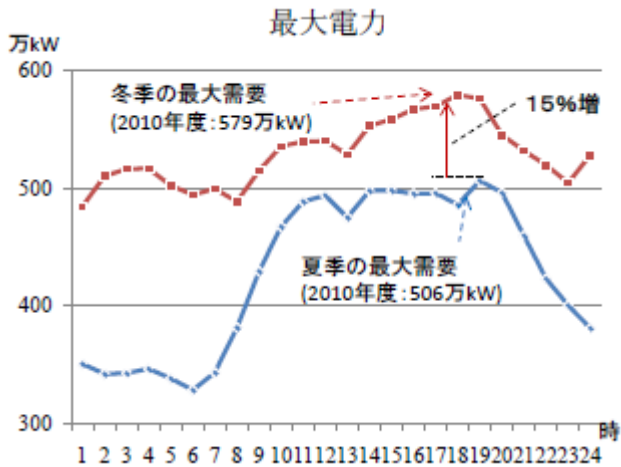
この時間帯以外でも、使用量は夏季のように大きく減ることはないので、気をつけたいものです。下記グラフ参照。

## 冬の特徴

冬季は、融雪・暖房機器の稼働が一日を通じて高くなるため、電力需要は夏季より大きくなり、かつ高い水準で一日中継続します。

夏季と比較した場合、最大電力では15%、電力量では25%程度の増加となります。特に、家庭用の電力量は、夏季より、60%程度増加するとともに、ロードヒーティングなどの使用もあり、需要が増加します。

【夏季・冬季の電気の使われ方比較】



【今冬の電力需給の見通しと需給ギャップ】

	昨冬見通し	今冬の見通し				供給力差異(2月)
	2月	12月	1月	2月	3月	
需要	563	557	557	557	530	
供給力(合計)	604	633	625	620	609	
原子力	0	0	0	0	0	
火力	495	495	494	493	493	・自家発電購入の減: ▲1万kW (23万kW織込み) ・火力増出力の減: ▲1万kW
水力	73	77	72	73	68	
揚水	34	60	59	54	48	・京極発電所新設による増: +20万kW
地熱等(風力再掲)	4 (1.8)	4 (1.9)	4 (1.6)	4 (2.2)	3 (1.1)	
融通	0	0	0	0	0	
その他	▲3	▲4	▲4	▲4	▲4	・常時バックアップ供給の増: ▲1万kW
供給予備力	41	76	68	63	79	
予備率(%)	7.2	13.6	12.3	11.4	14.9	

※四捨五入の関係で合計が合わないことがある。

出典「北海道電力株式会社」

